



# 夢に生きたん

武岡台高等学校進路指導部  
第 8 号 (1, 2 年生)  
令和 8 年 3 月 24 日 (火) 発行

## 37期生入試結果速報

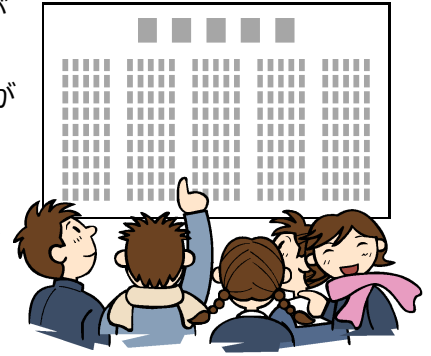
### 共通テスト受験者は微増

1月17, 18日に実施された大学入学共通テストは、全国で45万人余りが受験しました。現役生が昨年に比べ減少しましたが、既卒生は増えました。

「国語」に複数の資料が出題されたり、地歴・公民では探究活動の場面が多く設定されるなど、日常を意識した場面を設定する傾向が目立ちました。

「数学ⅠA」では集合に関する問題が共通テストで初めて出題されました。

教科・科目別では「英語リーディング」「化学」等の平均点がアップしたものの、「国語」「数学ⅠA」「物理」「情報Ⅰ」のダウンもあって、総合で文系は-24点、理系は-29.6点となりました。(6教科8科目 河合塾調べ)



### 37期生 国公立大合格者80名 ～鹿児島大は44名～

この春卒業した37期生は、国公立大前期日程を122名が受験、このうち39名が合格しました。前期の合格率は32%(昨年38%)でした。例年に比べて B, C 判定での不合格が多く、二次試験での逆転の難しさを実感する結果となりました。地元の鹿児島大学には推薦合格者を含めると44名が合格しました。

中期日程(3月8日)、後期日程(3月12日)では、3名が合格し、この結果、国公立大学の合格者数は80名となりました(昨年は91名)。

### 合格の秘訣は基礎学力の定着と最後まで粘り抜く気持ち

3月12日には受験報告会が開催され、卒業生から在校生へ受験校決定の時期、効果的な学習法などアドバイスが送られました。報告会を聞いた1, 2年生の声を一部掲載します。

- ・「受験にフライングはない」という言葉が印象に残った。模試の復習, バス待ちの時間などすき間時間の活用など今すぐ実践すべきことがたくさんあった。
- ・数学チャートを2～3回通った, 英語は1週間で100単語覚えた等, 具体的アドバイスが良かった。
- ・資格取得に努めることで大学の選択肢が広がること, 大学で「何が学べるか」という視点をもって, オープンキャンパスやイベントに参加することの大切さがよくわかった。

### 【37期生 合格状況】(3月23日現在 国公立大のみ)

国立大学	総・推	前期	中・後	合計	公立大学	総・推	前期	中・後	合計
山口大学	2			2	静岡文化芸術大学	1			1
福岡教育大学	1	1		2	山梨県立大学		1		1
熊本大学		1		1	県立広島大学		1		1
大分大学	1	1		2	下関市立大学	1		1	2
宮崎大学		1		1	周南公立大学		1		1
<b>鹿児島大学</b>	<b>24</b>	<b>20</b>		<b>44</b>	北九州市立大学	5		1	6
鹿屋体育大学		1		1	長崎県立大学	1	2		3
琉球大学		1		1	宮崎公立大学		4		4
					名桜大学	2	3		5
合計	28	26		<b>54</b>	沖縄県立芸術大学		1		1
熊本県立大学			1	1	合計	10	13	3	<b>26</b>

## 在校生へのアドバイス ～受験体験記から抜粋～

先輩方の生の声です。1、2年生の皆さんには、とても現実的で響くと思います。

- ・ 1、2年生のうちには単元テストや定期テスト、週末課題をしっかりと取り組み、基礎学力をつけておくことが大切だと感じた。
- ・ 寝る時間を削らないこと。日付が変わるまでにできる限りのことを終わらせ、残った課題は必ず朝起きてやるように心がけた。
- ・ いろいろ試して、自分が一番集中できる時間帯や場所を見つけると良い。
- ・ 模試の訂正をしっかりと行うこと。模試は共通テストの問題にとても近く、問題集を解くよりも短期間に点数を上げることができた。
- ・ 2年生のうちから自分の将来の目標に合った学校を何校かべておくとモチベーションが高まるだけでなく、(推薦受験に失敗したり共通テストで得点が取れなくても)素早く切り替えられる。
- ・ 面接、小論文という推薦型選抜の準備と、一般入試の勉強を並行して進めるのは想像以上にきつく、不安な気持ちになった。その際、先生方に相談しアドバイスをいただいたことで不安が軽くなった。
- ・ 3年の部活引退後、19時まで学校に残って勉強した。二学期からは朝も講義室で30分間勉強することを続けた。特別なことではないが、その習慣が基礎学力の定着に役立ったのだと思う。
- ・ 推薦型選抜で数学と物理の総合問題が課されるので、夏休みはほぼ毎日学校で朝から夕方まで勉強した。志望理由書作成では、自分の経験や興味のあることを将来の目標と結びつけるよう心がけた。
- ・ 部活動で培った、思うような結果が出なくても粘り強く努力した経験を勉強にも生かし、基礎事項の復習や苦手分野の克服に取り組み続けた。受験を通して日々の努力の積み重ねが、自分自身の考え方や姿勢を大きく成長させてくれたと実感している。



## 判定別合格率について ～3年夏までの到達目標～

進研模試では志望校に対して判定が示されます。

右の表は37期生の国公立大学前期日程の判定別合格率です。

A判定	B判定	C判定	D判定
93.8%	64.3%	50.0%	33.3%

とはいえ、3年生の1学期では志望校にA、B判定が出る生徒は極めて少ないです。そのため、3年夏までの模試の到達目標として、「5(6)教科で全国偏差値50以上」2学期の模試までに「B判定以上を出す」等の目標を設定し、まずは基礎事項の定着を図りましょう。

## Classi活用について ～春休みは「自主学习」で弱点教科を克服～

タブレット端末やパソコンを利用する学習ツール「Classi」を導入して約1年たちました。生徒の皆さんには、各教科からの課題や進研模試結果に基づいた「ベネッセテスト成績連動課題」、そして自宅学習を振り返る「学習記録」などの機能を利用してもらいました。

Classiは「自主学习」で、自分が設定した到達目標に応じて取り組むべき単元や問題をAIがお勧めしてくれます。春休みは教科から出される課題に加えて「自主学习」で弱点教科の克服に努めてください。

### 手順

Classi ホームの「学習トレーニング」から

「自主学习 (ベネッセテスト)」で「すべての受験済みベネッセテスト」を選択する

各学年スタディサポートの結果にもとづいて現時点で復習すべき単元・問題が表示されます。(復習を完了するとスタンプが表示されます)「1日最低10問取り組もう」など目標を設定して継続しましょう。

**留意点** Classiは便利なツールですが、あくまで補助的なツールです。間違った問題を改めて教科書で確認する、数学や理科などはノートに書いて解くことを疎かにしないことが大切です。

